

第4回健康・医療戦略推進本部 議事概要

日 時：平成26年10月29日（水）17時15分～17時55分

場 所：首相官邸4階大会議室

出席者：健康・医療戦略推進本部長、副本部長及び本部員

- 来年4月に設立される日本医療研究開発機構の理事長となるべき者及び監事となるべき者については、独立行政法人日本医療研究開発機構法に基づき、内閣総理大臣が指名しようとするときは、あらかじめ当本部の意見を聴くこととされていることから、当本部に以下のとおり付議があり、異議なく了解された。

理事長となるべき者： 末松 誠 慶應義塾大学医学部長

監事となるべき者： 間島 進吾 公認会計士

室伏 きみ子 お茶の水女子大学ヒューマンウェルフェア
サイエンス研究教育寄附研究部門教授

- 次に、副本部長である甘利健康・医療戦略担当大臣から、「『健康・医療戦略推進会議の開催について』の一部改正について」及び「『健康・医療戦略参与会合の開催について』の一部改正について」について説明し、案のとおり本部決定した。

- 次に、事務局より、本部の下に設置された各協議会及びタスクフォースのこれまでの成果等について説明が行われた。

- 続いて、医療分野の最近の研究開発の動向について、以下の3名から発表がなされた。

- ・ 「iPS細胞による網膜再生医療」

高橋 政代 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー

- ・ 「我が国における高齢者認知症の実態と対策：久山町研究」

清原 裕 九州大学大学院医学研究院環境医学分野教授

- ・ 「がん医療の革新：EML4-ALKがん遺伝子の発見から創薬まで」

間野 博行 東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座細胞情報学分野教授

- 最後に、本部長である安倍内閣総理大臣から以下のとおり挨拶があった。

- ・ 「健康長寿社会の実現」は、安倍内閣の成長戦略の柱です。

- ・ 本日は、7月に決定した「健康・医療戦略」の重要な柱である、医療分野の研究開発について、第一線でご活躍されている 高橋先生、清原先生、間野先生から、最先端の研究内容の発表を伺いました。
- ・ 高橋先生には、今後、症例を蓄積し、iPS細胞を活用した治療が実現することで、多くの患者さんの期待に応えることをお願いしたいと思います。
また、薬事法の改正について、大変な御評価をいただいたことに御礼を申し上げます。
- ・ 清原先生には、世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国において、認知症の克服に向けた取組を更に強力に進めていただきたいと思いますと考えております。
- ・ 間野先生には、がん原因遺伝子を発見する独自の技術を応用し、様々ながんの原因遺伝子の解明と革新的な治療薬の開発に取り組んでいただきたいと思います。
- ・ 3人の先生には、引き続き、最新の医療技術の新たなフロンティアを先頭に立って切り開いていただくことを期待しています。
- ・ 政府としても、来年4月には日本医療研究開発機構を設立するなど、健康・医療戦略を着実に推進し、本日発表していただいた、再生医療、認知症、がんを始めとした、医療分野の研究開発を力強く推し進めてまいります。

以上